

ふくで 福田漁港・浅羽海岸 あさば サンドバイパスシステム

静岡県



■局所的な砂移動のバランスを調整するための輸送(サンドバイパス)
 ・防波堤付近に堆積し、漁船の航路へ回り込む砂を手前で採取します。
 ・浅羽海岸へ砂浜の現状維持に必要な年間8万立方メートル(ダンプ約16,000台分)を投入します。

■有識者による検証委員会(平成28年6月30日とりまとめ概要)
 国内初の「固定設備によるパイプライン輸送方式サンドバイパスシステム」を運用するにあたり、以下の点を確認しました。
 ①地形変化予測に基づき、年間計画移動量8万立方メートルを基本とする。
 ②現状の設備にて、年間計画移動量の輸送を実証した。
 ③シラス漁及びアカウミガメへの影響に注視しつつ、通年運転を行う。
 ④効率的な運用のため、吸込口の改良や設置深さの調整を行う。
 ⑤効果・影響を把握するため、地形変化及び生物環境調査を継続する。

福田漁港 漁船数138隻、陸揚量1,757t、陸揚金額約8.5億円(平成26年)

